



報道発表資料の配付日時 2月9日(水) 17時00分

発表項目 (行事名)	オホーツク総合振興局管内で回収された死亡野鳥(ハシブトガラス)におけるA型鳥インフルエンザウイルス簡易検査の結果について(陽性)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 昨日(8日)、斜里町内で神経症状を呈した野鳥(ハシブトガラス)1羽が回収され、オホーツク総合振興局が本日(9日)簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されましたので、お知らせします。</p> <p>○ 今後、環境省が、北海道大学に依頼して高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査を実施します。 (検査結果の判明まで5日程度かかる見込み。) また、環境省は、回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>○ 現在のところ、回収場所付近で衰弱したり死亡している野鳥は発見されていませんが、今後とも関係機関と協力して、周辺地域における野鳥の監視を継続します。</p> <p>○ 遺伝子検査で陽性となり、高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認された場合には、「オホーツク総合振興局海外悪性伝染病警戒本部幹事会」を開催し、情報の共有を図るほか、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該ハシブトガラスの確認地点の消毒を行います。 なお、半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済み。 また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 現時点では、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であるため、病原性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません。</p> <p>○ 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、養鶏場への取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むようご協力をお願いいたします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	環境省、北海道(自然環境課、畜産振興課)	
担当 (連絡先)	<p>・北海道オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課長(担当者:橋) TEL:0152-41-0626</p> <p>・北海道オホーツク総合振興局産業振興部農務課長(担当者:森) TEL:0152-41-0660</p>		

